

# 岐阜農林事務所の普及活動状況

平成24年11月30日現在

## 今月の重点活動

### ■かき 富有の出荷が始まる！

・岐阜管内の各産地では、10/27～11/1に目揃い会が開催され、いよいよ富有の出荷が始まった。今年は着果量も多く、9～10月が高温で着色は遅れているものの肥大は順調で11/23頃からピークとなりそう。

選果場では落葉病果や生育異常果の正品への混入が見られ、家庭選果をしっかりと行うよう指導を進めている。



## 活力ある新産地づくり

### ■アスパラガス 第3回アスパラ塾を開催！

10月26日、JAぎふ正木店において塾生8名を対象に、「第3回アスパラ塾」を開催した。JAぎふ及び普及課の指導により、基本的なアスパラガス栽培および肥料施肥、農薬適正使用等農業生産等について習得している。

今回は、第3回「株養成から刈り取りまで」について講義を行いました。

塾も3回目となり、具体的な栽培管理について理解が深まり、導入に向けて準備を進めている塾生も現れている。面積拡大に期待が持てる塾となった。



【研修会風景】

## 売れる農畜産物づくり

### ■にんじん 冬にんじんの出荷が始まる。

各務原市の秋冬野菜の代表格である冬にんじんの収穫が始まりました。にんじん部会では、出荷基準の厳正化と出荷時の検査をしっかりと行い、高い品質を維持しており、市場からも高い評価を得ている。

12月中旬からは、春夏にんじんの播種も始まっており、良品をより多く出荷するため、計画的播種の推進と面積の維持・拡大を図っていく。



【収穫の様子】

### ■ほうれんそう (出荷本格化を迎え目揃い会開催)

10月下旬から、則武・島・合渡管内で目揃い会が開催された。10月上中旬に降雨が無く、この時期の作型がやや遅れている傾向が見られるが生育は順調。11月以降低温・周期的な降雨が続いているため、べト病の予防を呼びかけている。



【目ぞろえ会の様子】

## ■さといも (出荷目揃え会)

11月12日(月)、JAぎふ各務原予冷库集荷場でさといもの出荷目揃え会を行った。

生産意欲を高めるため、精算方式を本年度から月別・階級別の出荷実績に基づく戸別代金精算方式へ変更する。

このため、出荷規格や出荷スケジュールの説明を真剣に生産者は聞いていた。

次年度の種芋を八名丸へ統一し、産地ブランド化を推進する取り組みについて岐阜農林事務所から説明を行った。



【さといも目ぞろえ会】

## ■花き フランネルフラワー現地研修会

・11/15 生産者が中心となって構成される「フランネルフラワー研究会」では、栽培知識および品質の向上を目的に定期的に研修会を行っており、今回岐阜、西濃地区の合同現地研修会が開催された。会員ほ場2箇所の栽培状況を視察した他、参加した生産者は各自の生産物を持ち寄り、根の張り具合、土の状況など高品質生産に向けて積極的な意見交換が行われた。



【研修会の様子】

## 多様な担い手の育成・確保

### ■営農組合 能郷営農組合先進地視察研修

11月9日に能郷営農組合が郡上市の株式会社川合ファームに視察研修をした。川合ファームは利用権設定により水稲3.8ha、飼料米0.9ha、六条大麦1.3haを栽培している他、作業受託により耕起、代かき、田植え、収穫作業を請け負っている。経営規模は大きくなく中山間地でもあることから能郷営農組合の組合員と共通する状況であり、参考となるものとなった。



【視察風景】

### ■新規就農者 新規就農者経営研修会の開催

11月6日に、管内新規就農者13名の参加を得て、JAぎふと農業普及課合同による経営研修会を開催した。岐阜県、JA営農支援センター及び農業経営課よりJAグループの経営支援及び農業経営分析の概要について、農業普及課からは労務管理についての説明を行った。参加者の半数から今後の経営に参考になるとの評価を受け、今後は農家戸別に経営支援を行っていく。



【経営研修会】

## 県民みんなで育む農業・農村

### ■小学生 各務原市小学生稲収穫体験の開催

JAぎふ蘇原支店主催により、各務原市内小学生と家族を対象に収穫体験を開催されました。150人(40家族)の参加があり、幼稚園児から小学生高学年までが10グループに分かれ、稲の手刈り収穫を体験した。

農業普及課からは収穫後の稲から精米になるまでの説明を行いました。子ども達は初めて鎌をもち、最初はこわごわ刈り取りしましたが、コツをつかむと張り切って収穫をしていた。



【稲刈りする小学生】